

教育後援会総会に頂いた主な意見について (Q&A)

Q. 日頃は、いつも娘がお世話になっております。看護師になりたいという夢に向かって日々の学校生活のフォローをしていただき感謝しております。今後ともよろしくお願いします。自宅通学でないため、日々の生活や学校の成績、出席状況、単位取得ができていないか等、心配は尽きません。親の方で子供のこのような状況を知ることはパソコン等で知ることはできるのでしょうか？例えば学籍番号で検索すると本人の情報がでてくるとか？

A. ご意見ありがとうございます。今のところ本学には父母等様向けのポータルサイトを開設していない為、学生情報にアクセスすることはできない状態ですが、今後システム投資の見直しに伴い父母等様向けのポータルも準備できるよう教育推進委員会などにも働きかけてまいります。

Q. 臨床検査学科の令和5年度の国家試験合格率が70%に届かなかったのはとても残念に思いました。不合格者7名と就職・進学未決定者の6名が同じ学生なら、彼らの卒業後と自分の子どもの何か月後が重なってしまい不安でいっぱいです。彼らに学校は、どのような対応をされたのでしょうか。国家試験に届かない学生には一般企業への就職活動のアドバイスはないのでしょうか。

A. ご意見ありがとうございます。決して国家試験対策を怠った訳ではないのですが、結果として合格率が低かったことにつきましては誠に申し訳なく感じております。また、基本的に就職は国家試験合格と連動しますので、合格できなければ就職できないこととなりますが、学生が希望すれば医療機関に限定せず（資格を必要としない）一般企業への道も併せて支援いたします。その他、国家試験不合格者については、今後も大学で実施する模試の受験や教員からの指導・助言を継続しながら、改めて国家試験合格を目指してまいります。

Q. 国試の合格率が低いこと就職率も100%でないことが残念で多少がっかりしました。保護者として後援会として力になれることがあれば、全て協力したいと思うので教えていただきたい。

A. ご意見ありがとうございます。ご家族としては、決して国家試験を甘く見ないようご息女様にいつも声がけをいただきたいと思います。後援会としては、通常の模試や外部講師の講義等を更に上乘せして実施していくための経費的なご支援をいただきたいと思いますと考えております。